

伊那ロータリークラブ



例会場 くぬぎの杜 151(78)1121 事務所 伊那市西町5016-2 Tu(72)0077 例会日 毎週木曜日 会長 立石 誠 幹事 赤羽弘之 会報副委員長 大石ひとみ 第2863回例会 2019.4.18 No.1523



2018-19 年度 RI テーマ

BE THE INSPIRATION

ツ ン グ 我等の生業

会長談韶

皆さん、先週は観桜会お疲れ様で した。いよいよ桜満開となりました が、この一週間、停雷、季節はずれ の雪等大変でした。昨年我々が高遠



町下山田に植えたタカトウコヒガンザクラ10本のうち 1本が弱ってきて心配です。私の会長任期はあと2ヶ月 となりました。なんとか持ちこたえます。

委嘱状伝達

米山奨学生カウンセラー 中山一郎会員

幹事報告

別紙をご覧ください。



出席報告 会員数55名 内出席免除17名 長欠2名 出席者30名 事前メーキャップ0名 出席率63.82% 前々回78.70%変更無し。

ニコニコボックス

立石 誠・赤羽弘之 中山さん米山奨学生カウンセラ 一宜しくお願いします。

中山一郎 米山奨学生カウンセラーに委嘱されました。 スリランカ出身で信大院生(男性)です。よろしく お願いします。

小林孝行 本社事務所が出来上がりました。宜しくお 願い致します。

本田敏和 観桜会例会場ご利用ありがとうござました。 小林旬子 観桜会の二次会にご利用いただきありがと うございました。また、桜の枝を沢山分けていただ きこの一週間、店内が華やかでした。

観桜会ビンゴ当選 都築 透、中山一郎、唐木 拓、 馬場智義、小林孝行、原田和愛

4 月ゴルフコンペ入賞者 荒木康雄、小坂樫男、小河 節郎

地区研修・協議会報告

次期会長部会 唐木一平会長エレクト欠席のため後日 発表予定

次期幹事部会 唐木 章次期幹事

- ○幹事の「役割と責務」として
- ・クラブの次期役員や理事会メンバ ーと密に連絡を取り、年間計画を 立てる。



- 例会、理事会、協議会の議事録を記録する。
- ・ロータリー年度末に年次報告を作成する。
- ・必要に応じて、会長会計、各委員会を援助する。
- ・My Rotary を活用する
- ・クラブの管理運営・効率的な運営を支える
- ○2600 地区の方針(4つの優先事項)
- ・より大きなインパクトをもたらす
- ・参加者の基盤を広げる
- ・参加者の積極的なかかわりを促す
- ・適応力を高める

次期会員增強部会 都築 透次期会員増強委員長

- ·第2600 地区目標 2000 名堅持 各グループ純増10名 各クラブ純 増1名
- ・特に力を入れたいのは、女性会員、 40歳以下の若手会員を増やす。
- ・そのためには、青少年活動を活発にして、若者を勧 誘していく。
- 各クラブで当年度会員増強・維持活動計画書の作成。

次期公共イメージ向上部会 大石ひとみ次期クラブ会報委員長

今年度の計画・重点事業

・「ロータリーの友」等冊子を公共性 のある施設に配布。



- ・ロータリーのポスターを会員に配布し掲示を依頼。
- ・ロータリーデーを実施し、月信に取材協力する。



・委員相互の親睦を深める機会を設ける。

次期職業奉仕部会

竹腰哲夫次期職業・社会奉仕委員長

- ○委員会の目的
- ・ロータリー活動の根幹をなす職 業奉仕の理念を会員とともに考 え理解を深めていく。
- ・互いの職業から学びを受ける場 を提供し、ロータリーの魅力を高める。
- ○今年度の計画・重点事業
- ・職業奉仕セミナーの実施 11月30日 土曜日
- ・松本大学との教育連携協定に基づく講座の開催
- ・地区内のクラブによる出前講座の支援推進

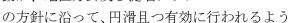
次期社会奉仕部会

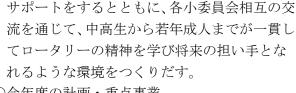
小河節郎クラブ管理運営委員長

- 1. 武藤委員長の話
- ・社会奉仕は RC 活動の中で最も 主要な活動である。又、奉仕は 片手間でするものではなく、継続性が大切で ある。しかし目的が達成されたなら終了し、次 のステップに進むことが重要。
- ・高度な奉仕活動を行うため、大勢のロータリア ンと知り合うことが大切である。
- 2. 滝沢副委員長から
- ・「交換留学生スキーの集い」の企画・結果報告。
- 3. 次年度の目標は
- ・2600 地区古川ガバナーの方針である「ロータ リーの魅力を広げよう」。
- ・Spread Charm of Rotary をロータリアンが実 践する。ロータリーのあらゆる機会を通じて人 脈を広げよう。そのためには①My Rotary への 登録②ショーケースへの登録 が重要である。
- 4. 次年度の計画・重点事業
- ・My Rotary の中にあるロータリーショーケース の登録案内。
- ・ロータリーに関する話を通じて社会奉仕活動の 理解を広める。
- 5. 各クラブの社会奉仕活動事例が発表された。 時間の都合上、駒ヶ根、塩尻北、中野の 3RC。

次期青少年奉仕部会 山崎秀亮次期青少年奉仕委員長

- ○委員会の目的目標
- ・2600 地区における青少年奉仕活 動が、地区方針及び提唱クラブ





- ○今年度の計画・重点事業
- 各小委員会の活動が円滑目つ有意義に行われる ようサポートする。
- •各小委員会相互の交流が積極的に行われるよう な環境整備をする。
- ・1、2年後の「青少年奉仕年次大会(仮称)」の 実現を目指し、各小委員会の活動計画のすり合 わせをおこなう。

次期ロータリー財団部会

原義美次期国際奉仕・財団委員長(唐木 章次期) 幹事代読)

- ○寄付目標
- 年次基金への寄付150ドル/1人
- ・ポリオプラスへの寄付30ドル/1人
- ・ロータリー平和センターへの寄付 500 円/1 人
- ・恒久基金への寄付 1000 ドル/1 人(任意)
- ・PHF、MPHF、ベネファクター、メジャードナー PHS、遺贈友の会会員の増員
- ○ロータリー財団に対する理解を深める
- ・ロータリー財団の補助金について
- ・ポリオプラスについて
- ・ロータリー財団の資金の仕組みについて
- ・資金管理の参加資格について
- ロータリー平和フェローについて
- ・寄付の認証の種類について
- ○地区補助金管理セミナーへの出席要請
- ○地区補助金の申請について
- ○ロータリーカードへの加入を推奨する。
- ○地区ロータリー財団奨学生を推薦する。
- ○地区補助金の資金管理及び報告をする。

次期米山記念奨学部会

宮下金俊次期国際奉仕・財団委員長(唐木 章次 期幹事代読)

- ○米山奨学会の特徴として、奨学金は例会時に手 渡しをする。また、カウンセラー制度を設けて、 ロータリアンとの交流をする。
- ○2009 年に米山奨学生だった中国人女性の卓話 があり、大学生活時に米山奨学金が無ければ中 国に帰るしかなかった実情を報告した。
- ○寄付目標として、普通寄付 3,000 円/1 人 特別寄付を加算して2万円/1人とする。